

令和3年

第3回国立市農業  
委員会総会議事録

国立市農業委員会

## 令和3年第3回国立市農業委員会総会日程

1. 日 時 令和3年3月26日 午前10時開会  
午前11時30分閉会

2. 場 所 国立市役所3階 第4会議室

出席者

1. 遠藤 利光      2. 遠藤 良信      3. 北島 直芳  
4. 小鹿倉 薫      5. 佐伯 達哉      6. 澤井 武  
8. 関 貞雄      10. 田中 賢治

事務局

事務局長 堀江 祥生      農政係主任 名古屋 悠  
農政係主事 吹春 雄章      会計年度任用職員 澤田 恵美子

3. 議事録署名委員の指名

4. 議題

(1) 農地法第4条第1項第8号の規定による農地転用届出書 1件

5. 協議事項

(1) 令和3年度国立市農業委員会活動計画(案)について  
(2) 令和3年度稲作体験学習会について

6. 報告事項

(1) 活動記録推進要領について  
(2) 生産緑地買取申出に対する取得のあっせんについて 2件

7. その他

【遠藤会長】 おはようございます。農業委員会総会を始めさせていただきます。議事録署名委員と致しまして、遠藤良信委員、北島直芳委員、よろしく申し上げます。議題に入ります。(1)農地法第4条第1項第8号の規定による農地転用届出書、1件、事務局、お願いします。

【事務局長】 1ページをご覧ください。農地法第4条の届出で、議案番号は4となります。農地の所在、地目、面積、届出者、転用の目的、転用の時期、周囲の状況は記載のとおりとなります。場所は、2ページの案内図をご覧ください。以上です。

【遠藤会長】 現地確認を関貞雄委員が行っていますので、ご報告をお願いします。

【関(貞)委員】 この場所の周りは自分の畑で、問題はないと思います。

【遠藤会長】 ありがとうございます。この件について何かご意見があれば受けたいと思います。ないようでしたらご承認をお願いします。

(承認)

【遠藤会長】 3.協議事項です。(1)令和3年度国立市農業委員会活動計画(案)について、事務局、お願い致します。

【事務局】 これにつきましては、3ページと4ページが資料となります。3ページをご覧ください。こちらは、令和3年度国立市農業委員会の活動計画で、農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務を遂行するため来年度の活動計画を次のとおり定めるという形で、1の基本方針、2の活動内容は3ページから4ページに書かれています。令和2年度との変更点としては、3ページの網掛け部分となります。以上を踏まえて、こちらの活動計画でよろしいかどうか、ご協議を頂ければと思います。よろしく申し上げます。

【遠藤会長】 とりあえずざっとお目通しを頂きたいと思います。基本方針と致しましては、生産緑地地区追加指定や特定生産緑地制度及び都市農地貸借円滑化法の周知を進め、農地の保全・利用促進に向けた取組みと地産地消の推進です。活動の内容と致しましては、(1)農業委員会組織活動ということで、会議、研修、(2)農地の保全と効率的な利用の促進ということで、肥培管理、効率的な利用の促進等、(3)農業の振興、(4)市民に農業を理解してもらう活動として、小学生の稲作体験、中学生の職場体験の受入れ、農業まつり等、(5)東京都農業会議との統一活動となりますけれども、これでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】 続きまして、(2)令和3年度稲作体験学習会について、事務局、お願い致します。

【事務局】 5ページと6ページが稲作体験学習会についての資料となります。5ページは令和3年度の稲作体験学習会の主な予定で、まず、1. JAアグリエコサポート基金については、毎年、稲作体験を行うに当たって東京みどり農業協同組合から基金を頂き、実施をしております。こちらは農協理事である鈴木政久委員から、今年度も基金から助成があることのご報告を頂いているところです。続きまして、2の令和3年度の日程について、こちらは田起こし、種まき、荒代かき、代かき、田植え、薬剤散布等と書いてありますが、今回はこのうち薬剤散布部分までの日程をお決め頂きたいと思います。続きまして6ページ、こちらは令和3年度のゲストスピーカーの日程表で、先月、教育委員会から実施予定日の案を頂き、一小から八小までの実施日を決めさせて頂いたとこ

ろで、各実施日の担当委員をこの場でご協議頂ければと思います。よろしく申し上げます。

【遠藤会長】 前回の定例総会で5月10日種まきというのが決まっています。次の荒代かき、代かきについては農業委員1名ということで、例年、農政班長が行っています。ですので、農政班長の田中委員にお任せしてやって頂くということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【田中委員】 鈴木委員が田んぼを1回耕運してくれるということで、まだ代かきをしていません。私は水稻は専門ではないので、どの程度やるかを鈴木委員と相談してやらせて頂きます。

【佐伯委員】 今は荒代かきも代かきも一緒なので、田んぼに水が入る前に1回やれば大丈夫だと思います。

【田中委員】 種まきの時に草刈りとなっていますが、すでに周りの草が伸びてきています。

【遠藤会長】 種まきの前までに、ひどいところだけ草刈りをした方がいいですね。

【田中委員】 全員でやるほどではないので、私のほうでやっておきます。

【遠藤会長】 分かりました。

【遠藤会長】 種まきのときには、草刈り機を持っている人は持ってきていただき、全体の草刈りをします。

【田中委員】 用水の通水はいつですか。

【事務局長】 今のところ、5月17日(月)に水を入れたいと思っています。来週の月曜日に理事会がありますので、そこで日程が決まる予定です。

【田中委員】 ごみ拾い、缶拾いは、去年はコロナで中止でしたが、今年はどうですか。

【事務局長】 予定では4月の祝日、昭和の日にごみ拾いということでやるのですが、まだ決まっていません。

【遠藤会長】 それと、用水のU字溝の堰止めは花と緑と水の係でやるのですか。あれをしてもらわないと水が入らないので。

【事務局長】 あそこはたしか、土のうか何かでやっていたのですけれども。

【遠藤会長】 土のうはやっていたけれども、ちょっと増水すると流れてしまうので、U字溝に切り換えてもらって、その後ちょっと土のうでやっていたという感じですね。その辺を、申し訳ないのですけれども、確認してください。今は撤去されていると思います。

【事務局長】 撤去されていきましたか。それは知らなかったです。体験水田用の取水口のところで、ダムを作るため、U字溝を沈めて水かさを上げて、体験水田のほうに流すようにする。そのU字溝のところは今、撤去されているというか、横に外してあるという感じですかね。分かりました。確認しておきます。

【遠藤会長】 ヤクルト前のU字溝については、市で清掃をしているのですか。

【事務局長】 環境政策課の現業の方たちがやってくれているかもしれないです。

【遠藤会長】 落ち葉を撤去しないと水田に入りますから。

【事務局長】 ただ、どこまでやってもらっているか分からないですけれども。

【遠藤会長】 1回、水を張って流してみないと分からないですね。

【事務局長】 その部分は、シルバー人材及びさとのいえのほうでやってもらっています。

【田中委員】 あそこは、ゲリラ豪雨みたいなのがあると、詰まって、あふれる事がよくあります。

【事務局長】 シルバー人材には、毎週金曜日に撤去してもらっているのですけれども、どうして

もゲリラ豪雨とかあるとたまってしまうですね。

【田中委員】 去年はごみ拾いをしていないから、2年分のごみが落ちていると大変ですね。それは様子を見ながら、臨機応変にやりたいと思います。

【遠藤会長】 薬剤散布というのは、この時期のやつは除草剤ですよ。これは2袋ですか。

【田中委員】 分からないですけども、聞きながらやります。

【遠藤会長】 例年と同じで、2袋やるとまあまあ効きます。1袋2キロですね。

【佐伯委員】 薬によりますね。私が使っているのは1キロです。それを2つですね。

【遠藤会長】 次の6ページのゲストスピーカーの関係、今年は市内公立の小学校は全部実施するというので、農業委員は10名ですから、大体1人につき、3回出て頂く感じになります。今、水田をつくっていらっしゃる方が佐伯職務代理と北島委員と関貞雄委員と鈴木委員の4名、この方たちがダブらないように、優先的に予定を入れたいと考えています。

【事務局】 総会の後で見て頂きたいのですけれども、パワーポイントで資料を作って投影するような形に変えました。やり方が複雑になっているので、同じチームのほうが負担は少なくなると思います。

(協議)

【遠藤会長】 それでは、一小は、北島委員、澤井委員、遠藤良信委員、二小は、鈴木委員、田中委員、佐伯職務代理、三小は、関貞雄委員、遠藤良信委員、北島委員、関藤子委員、四小は、鈴木委員、小鹿倉委員、田中委員、五小は、北島委員、澤井委員、遠藤良信委員、関藤子委員、六小は、私、小鹿倉委員、佐伯職務代理、七小は、私、小鹿倉委員、関貞雄委員、関藤子委員、八小は、佐伯職務代理、私、鈴木委員です。11月20日の一小の調理実習は、私、澤井委員、佐伯職務代理、田中委員です。よろしくお祈りします。4. 報告事項、(1) 活動記録推進要領について、よろしくお祈りします。

【事務局】 7ページをご覧ください。こちらは、「農業委員・農地利用最適化推進委員活動記録」推進要領ということで東京都農業会議から来ていまして、毎月提出して頂いている農業委員活動記録カードについての要領となっています。1として、活動記録カードを書く目的、2としては、活動記録カードにどういったことを書くのかという内容になっています。こちらを毎年、農業会議へ報告することになっていますので、この場で報告させて頂きました。内容は変わっていないのですが、いま一度、ご一読頂き、ご確認頂ければと思います。よろしくお祈りします。

【遠藤会長】 次に、(2) 生産緑地買取申出に対する取得のあっせんについて、2件、事務局、お祈りします。

【事務局】 まず1件目は、8ページから11ページまでとなります。8ページをご覧ください。生産緑地買取申出に対する取得のあっせんについて国立市から照会が来ていまして、申出者はA氏、農地面積は記載のとおりで、場所は11ページに地図がございます。こちらの買取りの有無について、各地区において農家さんのほうで買取り希望のお話がありましたら、令和3年4月9日(金)までに事務局へご連絡頂ければと思います。続きまして2件目、こちらは12ページから14ページまでとなります。12ページをご覧ください。こちらの生産緑地買取申出に対する取得のあっせん、申出者がB氏、場所は14ページに地図がございます。こちらの買取りの有無について、令和3年4月9日(金)までに事務局へご連絡を頂ければと思います。以上2件、よろしくお祈り致します。

【遠藤会長】 その他に入ります。生産緑地買取申出に対する取得のあっせんの結果報告、お願いします。

【事務局】 こちらについては、先月の農業委員会総会で1件の生産緑地買取申出に対する取得のあっせんがございまして、そのときに、この買取りの希望があるかどうかを本日の総会にて報告をして頂けたらということでした。買取りの申出についてどなたかいらっしゃいましたでしょうか。

(「なし」の声あり)

【事務局】 特に買取りについてご希望はないということで伺いました。ありがとうございます。

【遠藤会長】 次に、農業委員会だより54号について、お願いします。

【事務局】 資料の一番最後のページ、別-1をご覧ください。農業委員会だより54号の仮題割案ということで挙げさせて頂いています。この仮題割案でよろしければ、記事を書いて頂ける委員さんを決めて頂ければと思います。よろしくお願いします。

【遠藤会長】 2ページの農業委員の活動で、稲作体験学習会(田植え)について、慣れたところで小鹿倉委員、いかがでしょうか。

【小鹿倉委員】 はい。

【事務局】 ありがとうございます。

【遠藤会長】 ゲストスピーカーは、去年は関藤子委員でしたけれども、澤井委員、いかがでしょうか。

【澤井委員】 分かりました。

【事務局】 ありがとうございます。

【遠藤会長】 3ページの国立市優秀農業者表彰について、遠藤良信委員、いかがでしょうか。

【遠藤(良)委員】 分かりました。

【事務局】 ありがとうございます。

【事務局】 今、担当の記事を決めさせて頂いたところですが、それと関連しまして、今、お手元で見て頂いている、令和元年の8月に出した農業委員会だよりと、あと、もう少し写真が大きく載っている、これが次回のレイアウトとして採用してみてもどうかということで事務局で作ってみたのですが、この件についても、今日、皆さんからご意見を賜りたいと思います。毎年8月と1月に発行している農業委員会だよりですが、毎回1,000部で、いろいろな方に見て頂いています。農家の方々にとっての情報をわかりやすく農家の方々に伝えるという目的もひとつあるのですが、農業委員会として、より幅広い方に市内の農業のことを知って頂く機関紙のような役割も持たせてもいいのではないかと、というふうに事務局で温めてきたところです。他市の農業委員会だよりも私たちの手元にいろいろ来るので、そういったところから調査もして、会長にも相談をさせて頂いて、よりわかりやすく、イメージも載せながら、すてきな機関紙にできないかということで、あくまでもたたき台ですが、写真を多めにして、開いたときに楽しんで頂けるような構成にしてはどうかということで、今今のもをお持ちしました。これが完成ということではないので、皆さんからのご意見を頂いてまた作り込んでいければなと思っています。見開きのA3サイズ1枚のものを畳むような仕様はこれまでと変わらないのですが、同じ限られたページの中で、こういう見せ方をしたいなと思っています。ご意見を頂けますと幸いです。よろしくお願いします。

【田中委員】 写真の大きさはこのぐらい大きいのを使うのですか。

【事務局】 そうですね。8月号は毎回、稲作体験授業の田植えとゲストスピーカーを大きく扱っていますので、それはそのまま載せて、開いて右下のところに、先日ご協力を頂いた農業者表彰式の結果をお載せしたいと思っています。巻末のページに認定農業者紹介ということで載せてみたのですが、市内の農家さんの特集するような記事も載せてみてはどうかというところで、ここは事務局が担当して記事を書くことになるのですが、農業をされている方自身について取り扱った記事がこれまでなかったの、他市さんの事例も見ながらちょっとやってみたらいいのではないかと考えています。

【遠藤会長】 文字より写真のほうが、雰囲気が分かりますね。

【田中委員】 巻末は、例えば直売所をやっている方も多いため、直売所の風景でもいいだろうし、直売所をやっていない人は畑の様子とか、そのほうがいいかなと思います。

【遠藤会長】 今、認定農業者はおかげさまで23名の方がいらっしゃいます。農業委員会だよりは年2回なので、一生懸命やっている方を紹介していくのもいいかなと考えています。

【田中委員】 ずっとこのパターンだったので、写真が多いほうがいいですね。

【事務局】 あまり字がたくさんあると読まないですね。

【遠藤会長】 こんな形でよろしいですか。

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】 2月農業委員活動記録カード集計結果、よろしくお願ひします。

【事務局】 令和3年2月の活動記録カード集計結果をご報告致します。A「総会、全員協議会」7件、C「その他の会議・会合」8件、D「資料・調査票の配付・回収」7件、F「現地確認」1件、合計23件です。以上です。

【遠藤会長】 続きまして、4月の総会日程です。22日、23日、26日で、ご都合の悪い日があれば言って頂きたいと思ひます。

(協議)

【遠藤会長】 では、4月23日です。

【事務局】 23日は、場所は2階の議会委員会室になります。

【遠藤会長】 次、A小学校5年生の稲作体験について、よろしくお願ひします。

【事務局】 先日、A小学校の5年生の担当の先生からお電話がありまして、稲作体験を国立市の農家さんのどこかの田んぼでできないかという依頼がありました。今までA小学校の5年生の稲作体験はどこでやっていたかという、府中市のA小学校の卒業生が所有している農地で、農協の指導の下、田植えと稲刈りを実施していたということです。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で稲作体験ができなくて、また、A小学校のほうでは、以前から国立市内の田んぼで稲作体験ができればと希望をしていたのですが、この機会に、令和3年度以降は国立市内の田んぼで実施できたらということで依頼をされました。A小学校の5年生は2クラスありまして、40人から60人の子供たちが、1日かかりでお弁当を持って府中市の田んぼまで行って、午前中は田植えと稲刈りをして、午後は帰ってきて国立駅で解散をするという形で行っていたらしいです。それと同じような形でやるとしたら、ゲストスピーカーについては要検討になっているのですが、A小学校の時間割の6時間目が2時40分ぐらいということで、午後3時ぐらいまでに国立駅に到着できればということで、午前中に田植えと稲刈りが国立市の農地のどこかでできればという話でした。府中市での稲刈りが終わった後に、約30キロのお米を府中市の農家さんと農協のほうでA小学校に届けてお

り、その謝礼としてA小学校からは2万円を払っていたということです。実際にA小学校の5年生を引き受けるには、個人の農家さんですと、最大60名の子供たちの指導をするというのは負担が大きいのかなと思いますので、もし引き受けるとしても、農業委員会や農協の米生産農家などの団体が引き受ける必要があるのかなと思います。もし農業委員会としてこの件を引き受ける場合、毎年、教育委員会から国立市内の公立を引き受けているのですが、それに加えて私立を引き受けるということなので、今後、他の私立からやりたいという話が来たときに、農業委員会ができるのかという話や、また、実際に市内の公立でやっている田んぼで一緒にやるとなると、精米後のお米の配分の仕方とか、区画割りとか、どういうふうにするのか、いろいろな懸念があると思います。以上を踏まえて、A小学校の5年生の稲作体験を引き受けるのかどうかということと、誰が実際にそれをやっていくのかということ、この場でご協議頂きたいと思います。以上です。

【事務局】 状況としては、府中の今までやっていた受入先がなくなったわけではなく、国立市が駄目ですということであれば、来年度は今までどおり府中のところでやりますという話ですけれども、恐らく、道中が長かったりするところをご負担で、先生も定期的に見に行くにも、市外のところなので難しく、もう少し近場で、市内でできるところがあればというお話みたいです。緊急を要するところではないようで、お話自体はありがたいけれども、年度の最終盤なので、お力になれるかどうかということですね。今、言ったとおり、個人の方を紹介するとなると、その方々のご負担というのは、この間のCさんのところの話と同じように、相当かかると思うので、予算的に謝礼もそんなにお支払い頂けるということではないので、ご紹介もしづらいのかなというところですね。

【遠藤会長】 農業委員会としても、教育委員会のほうからお話を頂いて進めているわけですね。各小学校と個々に連絡を取るとは現実的には難しいところで、間に事務局に入ってもらったり、教育委員会に入ってもらってどうにか回っているという状況で、また、JAからもいろいろとご援助を頂いた中で運営をしているという現状を考えると、簡単にはお引受けできないのかなと。単年限りではなく毎年の実施になると思いますし、国立市内には、他に数校の私立小学校があるので、ある程度線引きをしていかないと、何でうちは駄目なのかという話にもなるので、その辺も加味したご検討を頂いたほうがいいのかと思います。

【佐伯委員】 過去に私立のほうからそういうお話があったことはあるのですか。

【田中委員】 ないと思いますね。大昔は知らないですけども。

【佐伯委員】 A小学校のほうから、国立市内でどこかいいところがあったらという話ですね。国立市内の農家でも田んぼの地番は府中市というような農家が結構多いです。国立の農家の人が気持ちよく、じゃ、うちで引き受けましょうと言ったときに、今度はA小学校のほうで、いやそこだったら不便なのでお断わりしますという状態になってしまうと、これも問題があるかなと思います。そういう懸念もあり、現状は府中市内の農家が受入れを拒否しているわけではなく、気持ちよくやっているようなので、そのまま農家とのやり取りを続けたほうがやりやすいのではないかと思います。

【遠藤会長】 今はほとんどが機械植えで、機械で収穫までやっているわけですね。体験ということは、それをまた昔へ戻って再現しなければいけないわけですね。現実的に考えると、引き受けるとするなら、さとのいえのところということになるでしょう。個々の農家に頼んでも、正直、きついです。



【田中委員】 中止となったときはどこにも補償してもらえないし、後が大変です。市としては引き受けたいだろうけれども、1校を認めると、他校も認めざるを得ない。そのときには今度、面積が足りないですよ。

【事務局長】 これは、私立の学校も含めて稲作体験となると、現状の組織とか運営の中ではそこまでの対応というのは想定していなかったもので、当然、それだけの人数が増えるとなると、それなりの予算を取って、人を手当てしてということを考えないと、対応が難しいかなと思います。

【澤井委員】 市の対応ですけれども、公立の小学校と私立の小学校があった場合には、同列で対応をするという考え方なのか、公立と私立は違うという考え方なのか、その基本的なところはどのようなのでしょうか。

【事務局長】 公立と私立だからということで分けて考えるということは、市としてはしないというスタンスになるかと思います。

【会長】 教育委員会には属しているのですか。

【事務局長】 学校法人としての運営があるので、教育委員会のほうで直接的な経営には関与していないと思います。ただ、文部科学省からの通達だとか制度の改定とかというのは、私立も公立もそれは教育委員会を通すことはあるかと思います。

【澤井委員】 すみません、コロナの1日当たりの感染者数は、去年と比べて今年のほうが多いと思いますが、去年は田植えをしなかったのですけれども、今年はやる方向ですか。

【事務局長】 今のところ、やる方向で考えているということでした。

【田中委員】 稲刈りの場合は周りを1回刈って密にならないような方法が考えられましたけれども、田植えのほうが密にはなるし、もしやるとしたら、方法は考えないといけないですよ。

【事務局長】 密にならないようにとなると、田んぼに入る人数をかなり絞ることになるので、例年より時間がかかると思います。そういう負担が増えてしまう可能性はあります。

【遠藤会長】 時間は倍かかりますよね。

【事務局長】 その辺はまた、教育委員会とすり合わせないといけないのかなとは思いますが。

【田中委員】 種まきも今の日程ではやっていきますが、実際に田植えを手でやるとなると、どういった方がいいのか考えないといけないですね。

【事務局長】 A小学校に対しては、今は、予算も人の手当てもなく現実的に受け入れるパイがないのでという答え方しかできないかなと思います。

【田中委員】 そのほうがいいと思います。コロナもあるし、今回の田植えの実施も分からない状況なので、前向きには考えますという回答をしておいたほうがいいと思います。

【事務局長】 分かりました。

【遠藤会長】 そういうことでよろしいですか。

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】 では、ただいまをもちまして総会を終わらせて頂きます。

—了—